



かるがも便り

春季

99号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会

代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：デザイン NI-MO

今号の 記事内容

1面：練馬区の一大会第38回【照姫まつり】開催
2面：【知られざる練馬の歴史シリーズ⑩】葛城明彦氏
3面：練馬区立美術館 第71回『練馬美術家協会展』
4面：野鳥と自然の会 提供【石神井公園 NOW】③

5面：写真で見る【西武線駅 今昔物語】そのシリーズその①
6面：ふるさと文化館『練馬区漫画家シリーズ』その④
7面：活動団体紹介シリーズ その⑥ ぶんかサイエンスカフェ
8面：石神井再発見ウォーク/シニアセミナー/歴史と文化講座

練馬区西の拠点 一大会第38回【照姫まつり】開催！

4月20日(日)石神井公園一帯で盛大に開催！

練馬区の西の拠点、石神井公園地域で、すっかりお馴染みになった春の大イベント「照姫まつり」は、今年で38回目を迎える。照姫まつりは、その主役を務める「三役」の役割が大きく、年初からオーディションが行われており、今年は、令和7年2月9日に最終決定した。



▲ 左から、酒井信幸さん、山本ぴんくさん、赤谷早紀さん

即ち、照姫役には、山本 ぴんく（やまもと ぴんく）さん、豊島泰経役は、酒井 信幸（さかい のぶゆき）さん、奥方役は、赤谷 早紀（あかたに さき）さんが、それぞれ選ばれて、まつりの主役を務めることになった。照姫まつりは、石神井城にまつわる史実に親しみ、ふるさとの意識の高揚と地域の活性化を図ることを目的として、昭和63年に第1回が開催された。照姫まつりの「舞台演技 照姫伝説」では一般公募された総勢約100人が豊島氏一族に扮して“石神井城落城”に因んだ物語を披露する。照姫まつりで披露する物語では落城のとき豊島泰経は三

宝寺池で最後を迎えるが、実は平塚城（北区）へと難を逃れ再起を図ったと記録が残されている。

石神井城落城の歴史と照姫伝説とを整理して紹介しているが石神井城落城の歴史と照姫伝説を踏まえ、更に深く照姫まつりの物語を楽しんでいただければとの願いを込めて催されている。石神井公園周辺は歴史と伝説にゆかりの地が数多くあり、石神井城址を始めとして「史跡めぐり」も楽しみの一つである。



▲ 昨年の照姫まつりパレード模様
（練馬区商工観光課提供）

石神井城の落城と豊島氏の滅亡

室町時代の文明9年（1477年）、当時の石神井城主・豊島泰経は、対立した江戸城主・太田道灌と江古田・沼袋原で戦い、これに敗れた。敗れた豊島泰経は、石神井城へと逃れたが更に太田勢に攻められ石神井城は落城し、平塚城（北区）へと逃げ延びた。翌年、豊島泰経は平塚城で再挙したが再び太田勢に平塚城も落とされ小机城（横浜市神奈川区）へと逃れたが、その後、消息不明となり豊島氏は滅んだとされている。それもいろいろな説がある。

練馬区によると、昨年の行列参加は102名で、動員は53,000人だった。（下河秀行）

◆ 開催についての詳しいことは、練馬区ホームページで
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/index.html>

第38回 照姫まつりのお知らせ

◆日時：令和7年4月20日（日）10時～15時30分 ◆場所：都立石神井公園とその周辺
毎年春、石神井公園周辺で「照姫まつり」が盛大に開催されています。今年は、照姫役に山本ぴんくさん、父親の豊島泰経役に酒井信幸さん、奥方役に赤谷早紀さんが決定しました。

- 照姫行列…豪華な時代行列
- 行列演技…野外ステージで出陣式&帰還式などが行われる。
- お囃子・ダンス・楽器演奏などあります。
- 出店…模擬店テント、展示ブース
- その他…石神井公園駅南ロータリーでの演技。 ご家族お揃いでお出かけください。

お買い物は、石神井公園商店街へ

【知られざる練馬の歴史シリーズ②】

西武池袋線・区内各駅の歴史

現在の西武池袋線の前身である「武蔵野鉄道」（池袋―飯能間）が開業したのは、1915（大正4）年4月15日のことであった。当初は蒸気機関車が運行されており、その場合加速・減速に距離が必要なため、区内で設置されていた駅は練馬・石神井（現・石神井公園）のみとなっていた。

「江古田駅」の開業は、電化となった1922（大正11）年11月1日で、これは主に武蔵学園生徒の通学利便のために設置された駅であった。同駅は初め、武蔵野稲荷神社前（武蔵学園寄り）に設置されていたが、その後1924（大正13）年、1958（昭和33）年と2回東に移動し、2010（平成22）年からは橋上駅舎となっている。

「桜台駅」は、1936（昭和11）年7月10日開業で、1915（大正4）年に大正天皇即位を記念して、千川上水（現在は暗渠）堤に桜や楓が約7キロに亘って植えられ、付近が桜の名所である「玉川上水・小金井堤」



▲1915（大正4）年、石神井駅
開業日の記念写真

に対し「新小金井の桜」と呼ばれていたことにちなんで命名された。

2駅先の「中村橋駅」の名は、南側を流れていた千川上水に架かる「中村橋」に由来しており、1924（大正13）年6月11日開業。主に、同年4月に開校した富士見女学校（現・富士見女子中学校・高等学校）への通学利便を目的として設置された駅であった。

「富士見台駅」は、1925（大正14）年3月15日に

「貫井駅」として開業しているが、1939（昭和14）年には武蔵野鉄道で売り出した分譲地名にちなんで、現名に改称された。なお、駅名には「台」「丘」が付くケースが多いが、これはいずれも、〴〵山の手イメージ、創出を狙った、鉄道会社およびその不動産部の戦略である。

「練馬高野台駅」は、富士見台～石神井公園間の距離が長かったことから、主に南田中団地住民の利便を図るために新設された駅で、1994（平成6）年12月7



▲1997（平成6）年の練馬高野台駅
開業式典（練馬区所蔵）

日開業。西武鉄道では最も新しい駅で、「練馬」の名が冠せられたのは、西武国分寺線に同音の「鷹の台」駅が存在していたためである。

「石神井公園駅」は「石神井駅」として開業しているが、ポート池新設前年の1933（昭和8）年に現名に改称された。駅前には、1920（大正9）年に建立された鉄道開通記念碑「石神井^{かしやたん}火車站之碑」が建立されている。

「大泉学園駅」は、1924（大正13）年11月1日に「東大泉駅」として開業したが、1933（昭和8）年に、箱根土地株式会社（現・コクド）が東京高等師範学校（現・筑波大学）・東京第一師範学校（現・東京学芸大学）を誘致し、〴〵学園都市、とする構想を立てた際に改称された。しかし、最終的には付属校を除いていずれの誘致も失敗しており、その後は駅名と町名にだけ「学園」の名が残る、という結果になってしまっている。文・葛城明彦（郷土史家）

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

お買い物は防犯カメラの設置された安全な加盟36店舗で



練馬区立美術館 「第71回 練馬区美術家協会展」

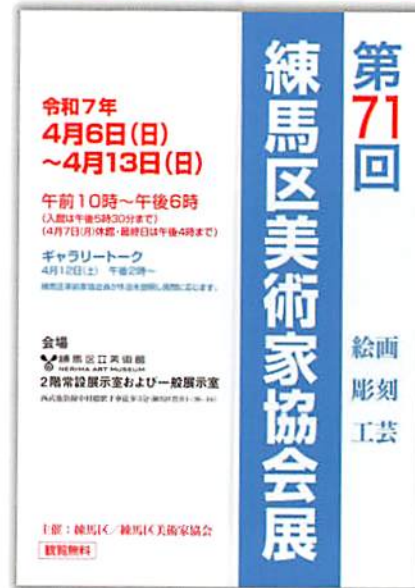
練馬区美術家協会会員による洋画・日本画・彫刻・工芸、約60点を展示します。

練馬区美術家協会とは

練馬区美術家協会は、練馬区在住の美術家および美術評論家により組織され、制作研究と親睦を図り、美術を通じて練馬区および区民の文化発展に寄与することを目的に結成されました。

本会は、「練馬区美術家協会展」の開催のほか、練馬区民美術展（旧・練馬区アマチュア美術展）の審査、展示等の協力や練馬区の要望を受け、区内の公共施設への協会会員の作品貸出の活動を長年続けています。記念展となる第50・55・60・65回の美術家協会展では、協会会員の「会員作品集」を刊行するなど、充実した美術家集団を目指し、精力的に活動しています。区内在住の美術家のご入会もお待ちしております。

- ❖ 会 期：2025年4月6日(日)～4月13日(日)
- ❖ 休 館 日：4月7日(月)（最終日は午後4時まで）
- ❖ 開館時間：10時～18時(入館は閉館の30分前まで)
- ❖ 会 場：2階展示室 ❖ 観 覧 料 無料
- ❖ ギャラリートーク
作者自身（練馬区美術家協会会員）が作品を説明し、質問に応じます。
- ❖ 日 時：4月12日(土) 午後2時～



▲会場風景写真①



▲会場風景写真②

「第71回 練馬区美術家協会展」会長のコメント

練馬区美術家協会は、今年第71回展を迎えます。美術家協会は、1955年練馬区の紋章の作成にあたった芸術家たちによって設立されました。開催場所を公民館、区役所、石神井庁舎としてきましたが、練馬区立美術館開館に伴い、今日まで、開催会場としてまいりました。日本画、洋画、彫刻・工芸の分野があり、会員70名での構成です。練馬区立美術館の広い空間で、多彩な作品が競い合い、影響し合い協会展の世界を形成しています。作品は、その時、その時の作家の記念碑です。ぜひ練馬区在住（旧練馬区民、仕事先）作家の作品にふれて頂きたいと思います。

練馬区美術家協会 会長 島田紘一 呂

診療科目

- 内 科
- 糖 尿 病 内 科
- リ ウ マ チ 科
- 胃 腸 内 科
- 循 環 器 内 科

菅原医院

www.sugawara.or.jp
☎ 3996-3016

診療時間

- 平 日
午前9:00～12:30
午後3:30～7:00
- 土 曜
午前9:00～12:00
休診日：水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16

春のみどころ 石神井公園野鳥と自然の会の提供【石神井公園 NOW】

陽は暖かく降り注ぎ、風に花々が揺れ、やがて瑞々しい新緑に包まれる季節。多くの動植物が寒さから目覚める季節。生き物たちの新たな命との出会いを楽しみましょう。

○植物

ニリンソウ、ジロボウエンゴサク、アマナ、イチリンソウ、アズマイチゲ、ヒトリシズカなどは、木々の若葉が出る前にたっぷりと日光を浴び、栄養を取り入れ、木々が茂る頃消えていきます。

桜は3月末から野生種のヤマザクラ、オオシマザクラなどが開花します。B 地区野球場では3月上旬から5月のゴールデンウィークあたりまでカンザクラ、カンザン、シダレザクラ、フゲンゾウなどさまざまな桜の花を次々と楽しめます。

3月下旬からミツガシワ、4月にはカキツバタ、コウホネ、5月にはノハナショウブが賑やかに咲き出します。4月中旬頃から5月にキンラン、ギンランの他、さまざまな



スミレの仲間が開花。ヤブデマリ、イイギリ、スイカズラ、テイカカズラ、ムラサキシキブ、ヤマアジサイなど木々の花も咲き誇ります。

○昆虫

早春の花が咲き始めると昆虫も一斉に姿を見せ始めます。ピロウドツリアブ等ハナアブやハナバチそしてハナムグリなどの甲虫達も、忙しく蜜と花粉を求めて花にやってきます。キタテハ、テングチョウ、キタキチョウ、ムラサキツバメ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミなど寒い冬を生き抜いた成虫越冬後のチョウたちもこの頃に見ることができます。

4月には、水辺観察園で春の一ヶ月ほどしか見られないツマキチョウが現れます。アゲハ、キアゲハも続いて飛び始めます。成虫越冬後のホソミオツネトンボ、ホソミイトンボは 綺麗なブルーに体色を変え姿を見せます。水辺のカササゲやヨシに隠れてアジイトンボが現れ、その後アオモンイトンボも加わります。

5月ともなるとトンボ、チョウともに種類が多く賑やかになっていきます。運が良ければアオヤンマ、ダイミョウセセリ、イチモンジチョウ、アカシジミ、トラフシジミに出会えるかもしれません。



アカシジミ

ミドリシジミ

アオヤンマ



エナガ団子

キビタキ

カイツブリの親子

○野鳥

特にウグイス、アオジ、ツグミ、シロハラ、アカハラといった冬の小鳥達は、これまでの地味な つぶやきに加え、美声を披露することがあるので注意して観察してみてください。カイツブリ、カルガモ、コゲラ、シジュウカラ、エナガ、ムクドリ、カラスといった一年中見られる鳥達は、早くもかわいいヒナを連れた姿を見せてくれるかもしれません。

三宝寺池ではサギコロニーの形成過程に注目。アオサギが巣を作った後、“用心棒”とばかりに、近くでコサギ、ゴイサギが巣作りしていくはずです。

4月終わりになるといよいよ渡り鳥の季節が到来。オオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、サンショウクイ、ヤブサメ、センダイムシクイ、メボソムシクイ、オオムシクイ、エゾムシクイ、ホトトギス、ツツドリ、カッコウといった旅鳥が石神井公園に立ち寄ります。彼等彼女等が立ち寄ってくれる自然環境を維持できていることを誇り、尊び、感謝しつつ、観察を楽しみましょう。



アオサギ



コサギ



K's TRUST

石神井公園駅そばにある創業 55 年、総合保険代理店です。皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社 K's トラスト

〒177-0041 練馬区石神井町 3-25-8

☎ 03-5923-7775

橋本ビル 2 階

FAX 03-5923-7776

e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社



道駅沿線シリーズとして、特集する。

まず西の【大泉学園駅と石神井公園】から取り上げていくことにする。

大泉学園駅は、1924年(大正13年)11月1日武蔵野鉄道の東大泉駅として開業し、1933年(昭和8年)3月1日現在の大泉学園駅に改称した。2023年一日の乗降客は、西武全線中8位。78,557人で余り増えていない。

大泉学園は、NHK朝ドラ「らんまん」で、牧野富太郎の植物園が急激に注目を集める様になった。



▲大泉学園駅 旧駅舎



▲大泉学園駅 旧駅舎



▲現在の駅舎



▲駅構内観光案内板

石神井駅は、1915年(大正4年)4月15日石神井駅として開業し、1933年(昭和8年)石神井公園駅に改称した。東京都・練馬区などと協力して桜台駅付近～大泉学園駅付近の連続立体交差工事を進めてきた。

2012年11月に練馬～石神井公園駅間の複々線化が完成し、2015年1月までに計28ヵ所の踏切が除却され、これにより桜台駅付近～大泉学園駅付近間の連続立体交差化が完了した。2023年一日の乗降客は、西武全線中9位で、74,675人で少しずつ増えている。駅南口近くには、「都立石神井公園」があり、武蔵野の面影を残し森林が多くて自然環境に恵まれている。



▲旧 石神井駅舎



▲現在のモダンな石神井公園駅舎



▲賑わう昔の石神井商店街風景



▲旧 石神井公園駅駅舎



▲石神井公園ポート池で昔の灯籠流し

生演奏で歌える店 **fermata 石神井公園**(Live & café Bar)で感動のひとときを…

歓送迎会・クラス会・同窓会・ライブイベント・各種イベント・10～30名

❖平日ランチタイム貸切り、ワンプレート料理・飲み放題・歌い放題!

❖お一人様5,500円(税込) 12:00～16:00の間の2時間たっぷり

❖土・日曜は、貸切りライブも可能です。「石神井公園駅」西口徒歩2分
練馬区石神井町3-25-21 ライオンズプラザ石神井公園2階(100均真上)

03-6914-5135 (18時～24時 月曜定休) <https://www.barfermata.com/>



～練馬区 縁(ゆかり)のある漫画家たち～ 紹介シリーズ④

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6（2024）年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。本紙では、ふるさと文化館分室で作品展示を行った漫画家を紹介しています。



原画「クロサギ」

黒丸

平成 11（1999）年、少年サンデーでデビュー。平成 15（2003）年から週刊ヤングサンデー、ビッグコミックスピリッツにて『クロサギ』『新クロサギ』（小学館）シリーズを連載。『クロサギ』は平成 18（2006）、平成 20（2008）、令和 4（2022）年にテレビドラマ・映画化された。他に『UNDERGROUN ‘DOGS』。平成 31（2019）年の上京以降、練馬在住。



原画「漫画版 論語と算盤」

近藤 たかし

昭和 46（1971）年 10 月 3 日生れ。埼玉県出身。漫画家、漫画原作者。村上もとかのアシスタントを経て、平成 11（1999）年オースーパージャンプにてデビュー。主に時代劇や学習漫画を執筆。現在ヤンジャンアプリで「境界のエンドフィール」（原作 近藤たかし・作画 アン・トンシク）連載中。

4月～6月は、江尻立真先生とのむらしんぼ先生の作品を展示する予定です。ぜひご来場ください。
石神井公園ふるさと文化館 練馬区石神井町 5-12-16 TEL03-3996-4060



感謝のセレモニー マキノ祭典

ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル
0120

ヨイ セレモニー

0120-41-7062

■ 本 社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040 ■ 営業所：東大泉
■ サロン：大泉学園町店・大泉学園駅前店

マキノ祭典

検索

～ 練馬区のサークル紹介 ～ その⑥

練馬で活動をする

【ぶんかサイエンスカフェ】

(講座一部紹介)

- 3月29日(土) 午後2時～4時 Coconeriホール
「気持ち伝わる声」 遠藤謙二郎
- 3月30日(日) 午後2～4時、練馬区役所交流会場
「発酵薬膳料理 春夏の身体にやさしいレシピ」 深田和恵
- 5月24日(土) 午後2～4時 練馬区役所交流会場
「怒りのコントロール術」 亀田卓
- 8月9日(土) 午後2～4時 Coconeriホール
JAXA研究員「宇宙について」



ぶんかサイエンスカフェ (練馬区生涯学習団体)

- 会員 年会費：1000円 会報配布
- 講座参加費：1000円、2人以上で1人800円、
大学生500円 高校生以下無料
- 講座申し込み：office@cscafe.net
代表 伊藤規志子 090-1771-0901
- HP <https://cscafe.net/> (ぶんかサイエンスカフェ)
- Facebook:
<https://www.facebook.com/cscafe.nerima>



ぶんかサイエンスカフェでは、文化と科学に対して、知的好奇心旺盛な人が集まって学習会をしています。

今年で12年目になります。

月1～2回、練馬区役所の交流会場 Coconeriを会場にして開催しています。

前半はゲストが今注目しているテーマについて講演し、後半は参加者が自分一人で考え、自分の言葉で話す発信力は、社会性や、よりよい社会を創っていく社会力を強くしますから地域で住みやすくなります。

講座の他には、練馬区教育委員会委託講座も実施しており、12月には誰でも参加できる「クリスマス&忘年会」も開催しています。どうぞ見学に来てください！

サミットが日本のスーパーマーケットを楽しくする

サミットストア
石神井公園店

練馬区石神井町 2-12-21
☎ 03-5923-7360
営業時間 9:00～23:00

第10回 石神井&南田中再発見ウォーク「まち歩き」参加者募集！

- ◎と き：5月18日(日) 12時45分に集合。
- ◎ところ：石神井公園駅改札口前から午後1時発
- ◎定 員：お申し込み先着 25名
- ◎参加費：800円(テキスト代・入館料を含む)
- ◎講 師：郷土史家 葛城 明彦氏
- ◆コース：石神井公園駅～和田稲荷神社～金木園跡～石神井川～南田中新道記念碑～板碑発見地～十善戒寺～壇一雄旧宅跡～練馬区立南田中図書館～おく

らやま憩いの森～観蔵院(筆子碑・曼荼羅美術館[見学・新六道曼荼羅図])～積田牧場跡～元締山の森緑地～平成みあい橋～長光寺跡～南田中三丁目遺跡～練馬高野台駅。(午後4時過ぎ解散予定)

- ◆申込：氏名・電話番号を書き 石神井まちづくりの会
- ◎申込先：e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jpもしくは、(携帯) 080-6607-4321

～ NSNねりまシニアネットワーク主催【シニアセミナー】のご案内 ～

練馬区が後援し、ねりまシニアネットワーク(NSN)の主催で、今年で31回目となります。このセミナーで自分たちのセカンドライフを楽しむ「居場所」作りを始めます。

今年の「ねりまシニアセミナー」を右記の通り開催します。皆様のご参加をお待ちしています。



- ◎日 時：6月18日(日) 13時～16時30分
- ◎場 所：区民産業プラザ「ココネリホール」
- ◎基調講演：シニアの後悔しない生き方
講 師：健康生きがいづくりアドバイザー 南野 和治氏
- ◎会 費：500円、予約の上、ご参加下さい
- ◎申込み：e-mail nerimansn2025@gmail.comもしくは 電 話：080-7529-0096

～第24回 練馬まちづくり【歴史と文化講座】開催のお知らせ！～

- ◎と き：令和7年6月20日(金) PM13時30分開場 開演 14時～16時
- ◎ところ：石神井公園ふるさと文化館多目的会議室(駅南口⑭からバスで3分)
- ◎テーマ：～NHK大河ドラマに誘致活動する【立花宗茂公】について～
- ◎講 師：立花宗茂 第17代子孫 立花宗鑑氏 (NHK大河ドラマ誘致推進中)
- ◎会 費：テキスト代含め、500円 ◎定 員：先着順に60名
- ◆申込み：メールでは、常時受付中。e-mail hkbcp351@yahoo.co.jp
- 電話による受付 090-9479-7543 は、5月24日・25日・31日、6月1日・7日・8日に限定。
- ◎主 催：南田中のまちを考える会 ◎後 援：練馬区教育委員会



～【かるがも便り】は、インターネットでも閲覧可能です～



住みよいまちづくりを目指して活動している「石神井まちづくりの会」が発行している地域情報紙【かるがも便り】は、今年夏季号で創刊25周年・第100号を迎えます。この情報紙は、練馬区内の12の図書館と30の公共施設に設置されています。

紙面の【かるがも便り】を閲覧し難い方はインターネットで簡単にすることが出来ますので、お試しください。

<https://s48921h.wixsite.com/nerima>

Shimizu Dental Clinic

シミズ デンタル クリニック

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井パークロード商店街 銀座通り

診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お昼休み 13:00～14:00
日曜 祝祭日 年末年始 休診

03-6913-3517

<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～

当院では、**歯科訪問診療**を行っています

クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで

ご家庭や施設など限られた環境でも
経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応

みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします

どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

院長 清水 雄一郎

石 神 井 まちづくりの会
ご意見等は、☎&FAX、又は左下のe-mailへ送信してください。
TEL&FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321
【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。